



2027年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年8月5日

上場会社名 株式会社ディー・エヌ・エー 上場取引所 東
コード番号 2432 URL <https://dena.com/jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 南場 智子
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 経営企画本部本部長 (氏名) 渡辺 圭吾 (TEL) 03(6758)7200
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括 利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	37,166	△10.9	7,411	△46.3	49,753	213.5	33,627	203.6	33,438	198.5	29,142	△14.5
2026年3月期第1四半期	41,727	22.8	13,800	620.0	15,871	253.6	11,076	289.1	11,203	267.1	34,076	561.1

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	333.13	332.33
2026年3月期第1四半期	100.54	100.22

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	304,894	226,605	218,272	71.6
2026年3月期	333,244	240,787	232,622	69.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	66.00	66.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2. 2027年3月期の配当予想は未定です。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		営業利益 (Non-GAAP)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	154,000	4.3	15,000	△19.8	15,000	△46.7

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
2. 業績予想に関する事項の詳細は、添付資料の「1. 経営成績・財政状態の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、Non-GAAP営業利益は、一定のルールに基づき非経常的な項目・その他特定の項目を調整した指標であり、IFRSに基づく営業利益から、買収、事業・組織変更等に係る一時費用・一時利益、会計上の計上時期の補正等の影響を控除しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	122,145,545株	2026年3月期	122,145,545株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	28,504,571株	2026年3月期	14,758,913株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	100,375,065株	2026年3月期1Q	111,435,066株

(注) 自己株式数については、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式 (2027年3月期1Q : 76,226株、2026年3月期 : 125,778株) を含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 連結業績予想に関して

本資料における将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(2) 配当予想金額に関して

2027年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としており、業績動向等を精査のうえ、当社の配当の基本方針に基づき、今後決定してまいります。確定次第、速やかにお知らせいたします。

(3) 決算補足資料の入手方法

当社は、2026年8月5日に機関投資家・アナリスト・報道機関向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料は、当日の当期決算短信の適時開示後、当社ウェブサイトに掲載いたします。また、決算説明会の動画、主な質疑応答等については、後日当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態の概況	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態及びキャッシュ・フローの概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
【第1四半期連結累計期間】	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
【第1四半期連結累計期間】	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 継続企業の前提に関する注記	11
(7) 要約四半期連結財務諸表注記	11
① セグメント情報	11
② 1株当たり利益	14
③ 持分法で会計処理している投資	14
④ 重要な後発事象	14

1. 経営成績・財政状態の概況

(1) 経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2026年4月1日から2026年6月30日まで)において、売上収益は、37,166百万円(前年同期比10.9%減)となりました。主な変動要因は、後述のセグメント別の業績に詳述のとおりとなっております。

売上原価については、17,765百万円(前年同期比5.2%増)となりました。スポーツ・スマートシティ事業の費用の増加があった一方、ライブストリーミング事業及びゲーム事業の動向や、業績推移に応じて変動する支払手数料が減少しました。

販売費及び一般管理費は、11,976百万円(前年同期比2.7%減)となりました。主にゲーム事業やライブストリーミング事業等の業績推移に応じた支払手数料が減少しました。

金融収益は1,839百万円(前年同期比144.9%増)、金融費用は68百万円(前年同期比82.5%減)となりました。

持分法による投資利益は、40,571百万円(前年同期比2,272.7%増)となりました。前年同期比では、主な持分法適用関連会社である株式会社CygamesやGO株式会社等の業績動向等のほか、2026年6月16日付でGO株式会社が東京証券取引所グロース市場へ新規上場したことに伴い、当社が保有する同社普通株式の一部につき、株式売出しの方法により売却したことが影響しました。本件による影響の詳細は「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記(7) 要約四半期連結財務諸表注記③持分法で会計処理している投資」をご参照ください。

以上の結果、当社グループの売上収益は37,166百万円(前年同期比10.9%減)、営業利益は7,411百万円(前年同期比46.3%減)、税引前四半期利益は49,753百万円(前年同期比213.5%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は33,438百万円(前年同期比198.5%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①ゲーム事業

ゲーム事業の売上収益は12,120百万円(前年同期比33.2%減)、セグメント利益は3,826百万円(同62.0%減)となりました。

2024年10月30日に新規リリースしたタイトル『Pokémon Trading Card Game Pocket』の動向等により、前年同期比で減収減益となりました。

②ライブストリーミング事業

ライブストリーミング事業の売上収益は9,725百万円(前年同期比2.5%減)、セグメント利益は994百万円(同0.8%減)となりました。

国内の「Pococha」が引き続き堅調に推移し、国内の「IRIAM」が四半期としては初めて黒字化を実現したこと等により、前年同期比ではほぼ横ばいとなりました。

③スポーツ・スマートシティ事業

スポーツ・スマートシティ事業の売上収益は13,216百万円(前年同期比16.0%増)、セグメント利益は4,551百万円(同24.4%増)となりました。

株式会社横浜DeNAベイスターズでは、当第1四半期連結累計期間の主催試合数は前年同期比で少なかったものの、好調に推移しました。また、2026年3月19日にグランドオープンした「BASEGATE横浜関内」内に2つの直営施設が開業し、業績に寄与しました。

④ヘルスケア・メディカル事業

ヘルスケア・メディカル事業の売上収益は1,610百万円(前年同期比3.9%減)、セグメント損失は748百万円(前年同期は1,353百万円の損失)となりました。

ヘルスケア・メディカル事業では、今後の成長に向けた取り組みの精査と推進を継続して行っております。

ヘルスケア領域は、データ利活用・データヘルスともに、下期の需要期に向けた取り組みを進めています。メディカル領域では、2026年3月期より医療関係者間コミュニケーションアプリ「Join」の国内での展開、海外での展開、また、ポータブル医療機器とJoinを組み合わせた「Join Mobile Clinic」の3つの取り組みへの集中を進めて

おり、固定費の低減効果も着実に発現しています。

⑤新規事業・その他

新規事業・その他の売上収益は621百万円（前年同期比7.7%減）、セグメント損失は570百万円（前年同期は310百万円の損失）となりました。

当区分には、AIに関する取り組み等、中長期での成長や事業ポートフォリオの強化を目指した各種取り組み等を含んでおります。

（2）財政状態及びキャッシュ・フローの概況

①財政状態

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ28,350百万円減少し、304,894百万円となりました。

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ29,981百万円減少し、114,695百万円となりました。この主な要因は、現金及び現金同等物が18,616百万円減少、売掛金及びその他の短期債権が10,856百万円減少したこと等によるものであります。

非流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,631百万円増加し、190,198百万円となりました。この主な要因は、その他の長期金融資産が4,799百万円増加、のれんが2,364百万円増加した一方で、持分法で会計処理している投資が5,193百万円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ14,168百万円減少し、78,288百万円となりました。

流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ15,671百万円減少し、48,687百万円となりました。この主な要因は、買掛金及びその他の短期債務が7,662百万円減少、その他の流動負債が3,070百万円減少したこと等によるものであります。

非流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,503百万円増加し、29,601百万円となりました。この主な要因は、繰延税金負債が964百万円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の資本合計は、前連結会計年度末に比べ14,182百万円減少し、226,605百万円となりました。この主な要因は、親会社の所有者に帰属する持分合計が14,350百万円減少したこと等によるものであります。

流動性に関する指標としては、当第1四半期連結会計期間末において流動比率235.6%、親会社所有者帰属持分比率71.6%となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ18,616百万円減少し、84,430百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は4,941百万円（前年同期は6,950百万円の収入）となりました。主な支出要因は法人所得税の支払額又は還付額15,459百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は31,534百万円（前年同期は1,295百万円の支出）となりました。主な収入要因は関連会社株式の売却による収入36,569百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は45,161百万円（前年同期は9,268百万円の支出）となりました。主な支出要因は自己株式の取得のための支出36,306百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月12日開示の「2026年3月期 決算短信〔I F R S〕(連結)」で公表しました連結業績予想(売上収益154,000百万円(前期比4.3%増)、営業利益(IFRS)15,000百万円(前期比19.8%減)、営業利益(Non-GAAP)15,000百万円(前期比46.7%減))に変更はございません。

親会社の所有者に帰属する当期利益につきましては、事業ポートフォリオ・事業創造についての戦略のアップデートを最優先に推進していることから、合理的な算出が困難のため、非開示としております。

これに伴う戦略や計画の網羅的なアップデートを進めており、今後その精査状況や事業進捗等踏まえ、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示してまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2026年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	103,046	84,430
売掛金及びその他の短期債権	31,678	20,822
未収法人所得税	629	59
その他の短期金融資産	570	679
その他の流動資産	8,754	8,705
流動資産合計	144,677	114,695
非流動資産		
有形固定資産	12,344	12,454
投資不動産	5,022	5,032
使用権資産	23,711	23,100
のれん	20,747	23,110
無形資産	20,510	20,619
持分法で会計処理している投資	58,802	53,609
その他の長期金融資産	46,770	51,569
繰延税金資産	549	556
その他の非流動資産	112	151
非流動資産合計	188,567	190,198
資産合計	333,244	304,894

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2026年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
買掛金及びその他の短期債務	22,924	15,262
借入金	2,420	920
リース負債	2,677	1,806
未払法人所得税	15,330	12,723
引当金	2,659	1,761
その他の短期金融負債	1,384	2,321
その他の流動負債	16,965	13,895
流動負債合計	64,359	48,687
非流動負債		
借入金	70	40
リース負債	10,266	10,830
引当金	1,113	1,118
その他の長期金融負債	281	261
繰延税金負債	16,159	17,124
その他の非流動負債	208	228
非流動負債合計	28,098	29,601
負債合計	92,456	78,288
資本		
資本金	10,397	10,397
資本剰余金	11,476	11,438
利益剰余金	228,842	255,193
自己株式	△31,063	△67,121
その他の資本の構成要素	12,970	8,366
親会社の所有者に帰属する持分合計	232,622	218,272
非支配持分	8,165	8,333
資本合計	240,787	226,605
負債及び資本合計	333,244	304,894

(2) 要約四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上収益	41,727	37,166
売上原価	△16,890	△17,765
売上総利益	24,837	19,401
販売費及び一般管理費	△12,312	△11,976
その他の収益	1,515	104
その他の費用	△240	△120
営業利益	13,800	7,411
金融収益	751	1,839
金融費用	△390	△68
持分法による投資損益(△は損失)	1,710	40,571
税引前四半期利益	15,871	49,753
法人所得税費用	△4,796	△16,125
四半期利益	11,076	33,627
以下に帰属する四半期利益(損失)		
四半期利益：親会社の所有者に帰属	11,203	33,438
四半期利益(損失)：非支配持分に帰属	△128	189
合計	11,076	33,627
(単位：円)		
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	100.54	333.13
希薄化後1株当たり四半期利益	100.22	332.33

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期利益	11,076	33,627
その他の包括利益		
純損益に振り替えられないその他の包括利益の内 訳項目(税引後)		
資本性金融商品への投資による利得(損失) (税引後)	22,959	△4,319
純損益に振り替えられないその他の包括利益の 内訳項目(税引後)合計	22,959	△4,319
純損益に振り替えられるその他の包括利益の内 訳項目(税引後)		
為替換算差額(税引後)	111	△163
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△71	△3
その他	1	-
純損益に振り替えられるその他の包括利益の内 訳項目(税引後)合計	41	△166
その他の包括利益(税引後)	23,000	△4,485
四半期包括利益合計	34,076	29,142
以下に帰属する四半期包括利益		
四半期包括利益：親会社の所有者に帰属	34,116	28,951
四半期包括利益：非支配持分に帰属	△40	191
合計	34,076	29,142

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2025年4月1日残高	10,397	14,796	184,544	△20,653	52,651	241,734	11,142	252,875
四半期利益又は四半期損失(△)	-	-	11,203	-	-	11,203	△128	11,076
その他の包括利益	-	-	-	-	22,913	22,913	88	23,000
四半期包括利益合計	-	-	11,203	-	22,913	34,116	△40	34,076
所有者への分配として認識した 配当	-	-	△7,241	-	-	△7,241	△20	△7,261
自己株式取引による増加(減少)	-	△83	-	182	△28	71	-	71
株式報酬取引による増加(減少)	-	△62	-	-	79	17	-	17
非支配持分の取得及び処分等	-	13	-	-	-	13	-	13
子会社の支配喪失に伴う変動	-	-	-	-	-	-	△1,673	△1,673
振替及びその他の変動による 増加(減少)	-	118	-	-	△38	80	△13	67
2025年6月30日残高	10,397	14,782	188,506	△20,471	75,577	268,791	9,395	278,186

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2026年4月1日残高	10,397	11,476	228,842	△31,063	12,970	232,622	8,165	240,787
四半期利益又は四半期損失(△)	-	-	33,438	-	-	33,438	189	33,627
その他の包括利益	-	-	-	-	△4,487	△4,487	2	△4,485
四半期包括利益合計	-	-	33,438	-	△4,487	28,951	191	29,142
所有者への分配として認識した 配当	-	-	△7,088	-	-	△7,088	△20	△7,108
自己株式取引による増加(減少)	-	△167	-	△36,058	△22	△36,247	-	△36,247
株式報酬取引による増加(減少)	-	30	-	-	-	30	-	30
振替及びその他の変動による 増加(減少)	-	98	-	-	△96	3	△3	△0
2026年6月30日残高	10,397	11,438	255,193	△67,121	8,366	218,272	8,333	226,605

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	15,871	49,753
減価償却費及び償却費	1,712	1,911
関係会社株式売却損益 (△は益)	△1,296	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,836	△899
有価証券損益 (△は益)	47	△1,045
受取利息及び受取配当金	△751	△499
支払利息	106	67
持分法による投資損益 (△は益)	△1,710	△40,571
売掛金及びその他の短期債権の増減額 (△は増加)	17,332	10,812
買掛金及びその他の短期債務の増減額 (△は減少)	△9,595	△7,557
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2,113	633
前受金の増減額 (△は減少)	△2,569	△4,297
その他	△342	1,721
小計	14,857	10,029
利息及び配当金の受取額	811	499
利息支払額	△53	△9
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△8,666	△15,459
営業活動による正味キャッシュ・フロー	6,950	△4,941
投資活動によるキャッシュ・フロー		
子会社又はその他の事業の取得による支出	-	△2,340
子会社又はその他の事業の売却による収入	318	-
子会社又はその他の事業の売却による支出	△82	-
関連会社株式の売却による収入	-	36,569
関連会社株式の取得のための支出	△125	△100
有価証券及び投資有価証券の取得のための支出	△144	△1,236
有形固定資産及び投資不動産の取得	△1,475	△297
無形資産の取得	△1,348	△1,150
残余財産の分配による収入	1,419	-
その他	141	87
投資活動による正味キャッシュ・フロー	△1,295	31,534
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,500	△1,523
長期借入れによる収入	-	30
長期借入金の返済による支出	△205	△60
リース負債の返済	△502	△540
配当金支払額	△7,115	△6,933
非支配持分への配当金の支払額	△121	△20
自己株式の処分による収入	176	191
自己株式の取得のための支出	△0	△36,306
財務活動による正味キャッシュ・フロー	△9,268	△45,161
現金及び現金同等物の減少額	△3,613	△18,568
現金及び現金同等物の期首残高	92,803	103,046
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△76	△47
現金及び現金同等物の四半期末残高	89,114	84,430

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 要約四半期連結財務諸表注記

① セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループは、主にモバイル・PC向けのインターネットサービスを提供しており、サービスの種類別に事業部門等を設置しております。各事業部門等は、取り扱うサービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、サービスの種類別のセグメントから構成されており、「ゲーム事業」、「ライブストリーミング事業」、「スポーツ・スマートシティ事業」、「ヘルスケア・メディカル事業」の4つを報告セグメントとしております。

各セグメント区分に属するサービスの種類は、以下のとおりであります。

セグメント区分	サービスの種類
ゲーム事業	モバイル向けゲーム関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： ゲームアプリの配信、「Mobage（モバゲー）」等
ライブストリーミング事業	ライブストリーミング関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： 「Pococha（ポコチャ）」、「IRIAM（イリアム）」等
スポーツ・スマートシティ事業	スポーツ関連サービス（日本国内） 複合施設の不動産賃貸及び運営（日本国内） 主要サービス： 「横浜DeNAベイスターズ」、「横浜スタジアム」の運営、「川崎ブレイブサンダース」、「SC相模原」、「BASEGATE横浜関内」の賃貸及び運営等
ヘルスケア・メディカル事業	ヘルスケア・メディカル関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： ヘルスビッグデータ関連サービスの提供、「Join（ジョイン）」をはじめとする医療DX関連サービス等
新規事業・その他	新規事業及びその他サービス（日本国内） 主要事業領域： AI関連の新規事業等

なお、前第1四半期連結累計期間において、「新規事業・その他」に含まれていた「スマートシティ事業」については、2026年3月に「BASEGATE横浜関内」の開業を迎えたことに伴い経営における重要性が増したことで管理手法に変更が生じたため、従来の報告セグメント「スポーツ事業」と合算し、「スポーツ・スマートシティ事業」として記載する方法に変更しております。

前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても組み替えて表示しております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目

報告セグメントの会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表で記載している当社グループの会計方針と同一であります。

報告セグメント間の売上収益は市場実勢価格に基づいております。

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失及びその他の項目は以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間

(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位：百万円)

	ゲーム 事業	ライブスト リーミング 事業	スポーツ・ スマートシ ティ事業	ヘルスケア ・メディカ ル事業	新規事業 ・その他 (注) 2	調整額 (注) 3	合計
売上収益							
外部顧客からの売上収益	18,095	9,959	11,346	1,665	663	—	41,727
セグメント間の売上収益	40	12	52	11	10	△125	—
計	18,135	9,971	11,398	1,676	673	△125	41,727
セグメント利益（損失）（注） 1	10,057	1,002	3,658	△1,353	△310	△529	12,525
その他の収益・費用（純額）							1,275
営業利益							13,800
金融収益・費用（純額）							361
持分法による投資損益（△は損失）							1,710
税引前四半期利益							15,871

(注) 1 セグメント利益（損失）は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2 「新規事業・その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、AI関連の新規事業等を含んでおります。

3 セグメント利益（損失）の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間

(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位：百万円)

	ゲーム 事業	ライブスト リーミング 事業	スポーツ・ スマートシ ティ事業	ヘルスケア ・メディカ ル事業	新規事業 ・その他 (注) 2	調整額 (注) 3	合計
売上収益							
外部顧客からの売上収益	12,081	9,725	13,158	1,610	593	—	37,166
セグメント間の売上収益	38	0	58	0	28	△125	—
計	12,120	9,725	13,216	1,610	621	△125	37,166
セグメント利益（損失）（注）1	3,826	994	4,551	△748	△570	△628	7,426
その他の収益・費用（純額）							△15
営業利益							7,411
金融収益・費用（純額）							1,771
持分法による投資損益（△は損失）							40,571
税引前四半期利益							49,753

(注) 1 セグメント利益（損失）は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2 「新規事業・その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、AI関連の新規事業等を含んでおります。

3 セグメント利益（損失）の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

② 1株当たり利益

親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (百万円)	11,203	33,438
四半期利益調整額		
：子会社の発行する潜在株式に係る調整額	—	—
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益	11,203	33,438
基本的期中平均普通株式数 (株)	111,435,066	100,375,065
希薄化性潜在的普通株式の影響		
：ストック・オプション等	348,821	241,679
希薄化後の期中平均普通株式数	111,783,887	100,616,744
親会社の所有者に帰属する1株当たり 四半期利益 (円)		
基本的1株当たり四半期利益	100.54	333.13
希薄化後1株当たり四半期利益	100.22	332.33

③ 持分法で会計処理している投資

2026年6月16日付で、G0株式会社が東京証券取引所グロース市場へ新規上場いたしました。これに伴い、当社が保有する同社普通株式の一部につき、株式売出しの方法により売却しており、G0株式会社は当社の持分法適用関連会社から除外されることとなりました。

これにより、譲渡の対価と譲渡株式の連結上の帳簿価額との差額及び同社株式の残存持分を公正価値で測定したことによる評価益として39,517百万円を当第1四半期連結会計期間の要約四半期連結損益計算書において「持分法による投資損益(△は損失)」として計上しております。

④ 重要な後発事象

該当事項はありません。